



令和2年度第2号



サンフランシスコ日本語補習校  
理事会通信

2020年5月7日

## オンライン授業について

校長 土屋和也

サンフランシスコ日本語補習校の4校では、八十八夜の5月2日からオンライン授業が始動しました。当日のライブ授業の画像からは、楽しそうに学ぶ様子や、飽きてしまって視線が画面とは違ったところに向いている姿など様々で、いつもの教室で見る子どもの姿を見ることができて嬉しく思いました。

報道では、バイエリアのShelter in placeの発令は、5月末まで続くようです。通常の生活に戻る見通しがもてないということは、気持ちを萎えさせることになるにつくづく感じています。いつまでに何々をするようにしておこうという目標がもてると、毎日に張り合いがもてますが、この状況がいつまで続くのだろうという気持ちだけですと辛いものがあります。

中学校や高校では、生徒に進路指導をする際に、生徒自身で長期的な目標と短期的な目標の設定をすることを指導します。将来の職業に対する大きな夢や目標と、それに向かって取り組む短期的な目標をもち、スモールステップを積み重ねることで、生徒の取り組む姿や意欲を認め励ますように支援します。

現在のような閉ざされた状況の中では、1日や1週間の子どもの試みに対して、小さな努力や成果を大きく認め励まして、前向きな気持ちを育ててやりたいものです。

ここで新年度にあたり、本校の教育目標を改めてご紹介いたします。

- ・ 『日本語で学び考え、国際社会に貢献する、生きる力の育成』です。

教育目標設定の理由といたしまして、

- ・ 「様々な仲間と共に、日本語に浸りながら教科学習を通して、日本の文化や見方・考え方を学び、発達段階に応じた日本語での学びの深まりを目指す。  
また、日本にゆかりのあるアイデンティティの確立と国際社会に貢献しようとする意欲を育んでいく。」です。

そこで、令和2年度の重点目標を

- ・ 「日本語で学ぶ楽しさを感じる授業」と、いたしました。

この重点目標に迫る重点項目は以下の通りです。

<重点項目>

- 1 音声言語で学びを広げ、文字言語で学びを刻み、日本語力の着実な向上を目指す学校
- 2 子どもの自主的、自発的活動を支援し、温かい人間関係がある挨拶のあふれる学校
- 3 一人一人が学ぶ楽しさや、成就感を味わう授業が実践されている学校
- 4 新しい学習指導要領の実践と、移行期を捉えた教材研究や授業研究を推進する学校

令和2年度の学校は、オンラインによる課題提示や授業によってスタートしました。このような状況を学校運営改善のステップと捉え、子どもたちが「日本語で学ぶ楽しさを感じる授業」を創っていく手立てとして生かしていきたいと思えます。今後とも、本校の教育に対し、ご理解ご協力をお願いいたします。

## 令和2年度第1回理事会報告

第1回理事会が、4月15日にオンラインで行われました。御子柴新理事長の理事長挨拶に続き、本年度理事会運営方針について説明がありました。続いて、土屋校長より学事報告が行われました。保護者会会長より両校での活動報告の後、今年度の年間スケジュールについて報告が行われました。

## 補習校のしくみ（前編）



### ●理事・理事会

理事会はサンフランシスコ日本語補習校の経営を行います。例えば、長期的な児童数の増減を考えたり、授業料の制定をしたり、校長先生を日本から招いたりします。定員15名までで、財務・総務・法規委員会などの役職や部署があります。理事は一般保護者からの選出者、事務総長から成り立っています。理事は金銭的な報酬はなく、ボランティアです。

### ●事務局

日々の業務や事務をこなすフルタイムで働いているのが事務局です。サンフランシスコにオフィスがあります。

## ●教職員

先生たちには、校長、教頭、主幹や講師などがいます。校長と教頭2名は日本国政府から派遣してもらっています。SF/SJ、中高/幼小の各校舎には1名ずつ責任者である主幹が配置されています。校長、教頭、主幹はフルタイムで教育経営を行っています。講師のバックアップも行います。

## ●保護者会・保護者会役員

保護者会は補習校在籍者の保護者により構成され、本校の教育活動を支援することを目的としています。保護者会役員が各種行事の企画・運営をし、さらに学校行事（運動会、卒業式）の手伝いや各種係の手配などをします。保護者会からは4名を理事として選出します。

## 事務局よりお知らせ

### 人事異動

退職：幼小SF教員 トレスラー奈々子（3月31日付）  
退職：幼小SF教員 阪本麻子（3月31日付）  
退職：幼小SF教員 田中理恵（3月31日付）  
退職：幼小SF教員 田中清子（3月31日付）  
退職：幼小SF教員 河野弘子（3月31日付）  
退職：幼小SF教員 福本規子（3月31日付）  
退職：幼小SJ教員 坂崎智子（3月31日付）  
退職：幼小SJ教員 市川三保子（3月31日付）  
退職：幼小SJ用務 中井榛人（3月31日付）  
退職：幼小SJ用務 中井柊志（3月31日付）  
退職：中高SF教員 野間礼子（3月31日付）  
退職：中高SJ教員 三上しげ子（3月31日付）  
退職：中高SJ教員 堀郁代（3月31日付）  
退職：中高SJ事務 坂本静香（3月31日付）  
採用：幼小SF教員 郷司裕（4月1日付）  
採用：幼小SF教員 武田道子（4月1日付）  
採用：幼小SF教員 田立さゆり（4月1日付）  
採用：幼小SF教員 畠山恒次（4月1日付）  
採用：幼小SF教員 星崎直子（4月1日付）  
採用：幼小SF教員 宇野澤文枝（4月1日付）  
採用：幼小SJ教員 近藤真美（4月1日付）  
採用：幼小SJ教員 野澤敦子（4月1日付）  
採用：幼小SJ教員 竹内由紀子（4月1日付）  
採用：幼小SJ教員 松村周永子（4月1日付）  
採用：幼小SJ用務 ラミレス玲央（4月1日付）  
採用：中高SJ教員 増石哲也（4月1日付）  
採用：中高SJ事務 メロッシュ洋子（4月1日付）  
異動：幼小SJ→中高SJ 加藤郁子（4月1日付）

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月 1 回発行されます。 発行人：御子柴直樹  
San Francisco Japanese School 22 Battery Street, #612, San Francisco, CA 94111  
電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542 電子メール： 理事会・事務局 [office@sfjs.org](mailto:office@sfjs.org) 学校 [sfis@sfjs.org](mailto:sfis@sfjs.org)  
ホームページ：<http://sfjs.org/>  
理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問い合わせ等にはお答えしておりません。  
無断複製・転載を禁ずる。© San Francisco Japanese School 2020 All Rights Reserved.